

令和6年度 2学期学校評価結果(12月実施)

領域	項 目	質 問 内 容	アンケート結果	
			肯定的割合%	
			児 童	保護者
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	95	92
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	92	88
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	85	84
		挨拶をよくしている	93	80
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	84	82
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	91	80
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	87	76
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	95	86
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	93	88
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	92	86
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	92	90
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	96	90
		家庭学習の習慣が身に付いている	88	79
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	90	80
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	94	
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	92	79
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	81	84
		体力向上に努めている	93	90
	食 育	食に関する教育活動を行っている	91	84
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	95	92
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	89	88
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	94	88
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	96	90

学校評価の結果を受けての具体的な取組（3学期）



1. 学習面における具体的な取組，定着のための視点

◎ 授業の充実と学力の底上げ

- (1) 子どもにとって楽しくためになる授業
教師にとって達成感のある授業
 - ユニバーサルデザインの授業となっているか検証
 - 「大園小学びのスタンダード」の完遂
 - アウトプット：インプット＝2：1
- (2) 各学年の学力向上プランの遂行と検証
 - 次年度へ向けた加除修正（校内研修の成果）
- (3) 家庭学習の質と量の検討（宿題＋自学） ※ 「家庭学習の手引き」
 - ・ 朱を入れる ・ 訂正まで見届ける
 - ・ 目標時間の明示 自主（家庭）学習 15分×学年＋15分

◎ GIGAスクール構想の確実な推進

- (1) 授業等での積極的な活用 → 全教室毎日一回は！！
「発信ツール」「共有ツール」を中心に有効活用
- (2) 家庭学習での活用 → 少なくとも週に一回は！！
「Qubina」・・・精選し、ワークブックとして配信
「MEXCBT」・・・全学過去問や他県の問題を掲載
「調べ学習」・・・メディアリテラシーの醸成

2. 生活面における具体的な取組，定着のための視点

◎ 4つの「あ」＋「あ」の徹底と定着

- あいさつ→○○さん、○○先生を付けてあいさつ つながりに
- あるきかた→「はさみあるき」 ルールをまもる意識に
- あとしまつ→トイレのスリッパをそろえて脱ぐ 思いやりに
- あいてのきもち→「ちくちくことば」を無くして、「ふわふわことば」
に やさしさに



「あたりまえ」になるまで、全職員で全児童を徹底指導

◎ 一人一人に寄り添う「生活アンケート」「個人面談」の実施

- (1) アイアイ（愛愛）コミュニケーションで、その日その時即対応。
- (2) 子どもから原因を聞き（書かせ）、なぜ指導するのか理由を伝える。
- (3) 「見守る姿で」安心感を！！ 「信頼する言葉掛けで」充実感を！！